

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月21日更新

事務事業名		国保会計繰出金事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	澤田 勝矢
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	国保年金班	(内線)	2136
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 7	事業連番 10385	法令根拠	国民健康保険法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
						成果優先度評価結果		: ⑫	
						コスト削減優先度評価結果		: ⑥	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・国民健康保険特別会計に法で定められた額を一般会計から繰出す。 ・国民健康保険法で定められており、国民健康保険特別会計の健全な財政運営を目的とされている。 ・制度充足は自営業者のために創設されたものであるが、近年においては経済状況を反映して無職者が多くなり、国保財政は一段と厳しい状況である。また、国の三位一体改革により従来は国庫支出金だけであったのが、平成17年度より税源移譲と共に都道府県支出金も創設された。 ・医療給付費及び後期高齢者支援金、介護納付金の増加により基金が枯渇したため平成24年度から保険税を上げたが、なお不足する分は法定外繰入を予算計上した。
【業務の流れ】	年間回数に分けて、国民健康保険特別会計に支障をきたさないように繰出している。
【主な予算費目】	03-01-07-28 繰出金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	議会からは、国保税を下げるためにもっと多くを支出して欲しいとの要望もある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
国民健康保険特別会計へ326,597,338円を繰出した。	国民健康保険特別会計へ法定内分337,941,000円を繰出す。また、非常に厳しい運営となっている国保財政を市として支援するため、新たに法定外分として国保財政調整繰出金144,351,000円を繰出す。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 繰出金額	千円
イ:	【拡充事業】法定内分は、保険料軽減世帯の増を見込み、軽減額が増加するため保険基金安定負担金繰出金の増。法定外分は、国保税の引上げ幅を抑えるため、①乳幼児医療費の現物給付による療養給付費負担金・財政調整交付金の減額分、②特定福祉・保健指導事業及び③出産育児一時金に要する一般財源分、④後期高齢者支援金と⑤介護納付金及び⑥医療給付費の不足分を新たに繰出すための増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
国民健康保険特別会計	→ ア: 国民健康保険特別会計予算額
	イ: 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
国民健康保険特別会計へ繰出すことで、特別会計の財政の安定を図る。	→ ア: 法定内繰出基準額に対する繰出金支出額の割合
	イ: %
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
適正な繰出金をすることにより国民健康保険特別会計の財政の安定を図る。成果指標を繰出金額から法定内繰出基準額に対する繰出金支出額の割合に変更した。法で定められたルール分で設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込		
① 活動指標	ア	千円	265,732	315,237	320,320	326,597	482,292	487,981	487,981		
	イ										
② 対象指標	ア	千円	5,239,249	5,338,875	5,357,266	5,762,731	5,989,334	6,086,500	6,176,800		
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	142.7	150	150		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	16,281	17,046	17,500	16,719	17,300	17,300	17,300	
		都道府県支出金	千円	114,068	121,862	121,250	124,573	132,700	132,700	132,700	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	135,383	176,329	181,570	185,305	332,292	337,981	337,981	337,981
		(A) 事業費計	千円	265,732	315,237	320,320	326,597	482,292	487,981	487,981	487,981
		(A)のうち指定経費	千円	265,732	315,237	320,320	326,597	482,292	487,981	487,981	487,981
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	20	20		
(B) 人件費計	千円	79	82	82	80	82	82	82	82		
トータルコスト(A)+(B)	千円	265,811	315,319	320,402	326,677	482,374	488,063	488,063	488,063		

事務事業名	国保会計繰出金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-----------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 法で定められている。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 法の基準に基づいて繰出しているの、余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 法に定められたものであり他に手段はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国民健康保険加入者すべてに関係するので公平である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 行政が行う範囲である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

法の基準に基づいた適正な繰出金をすることにより、国民健康保険特別会計の財政の安定が図られている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						